

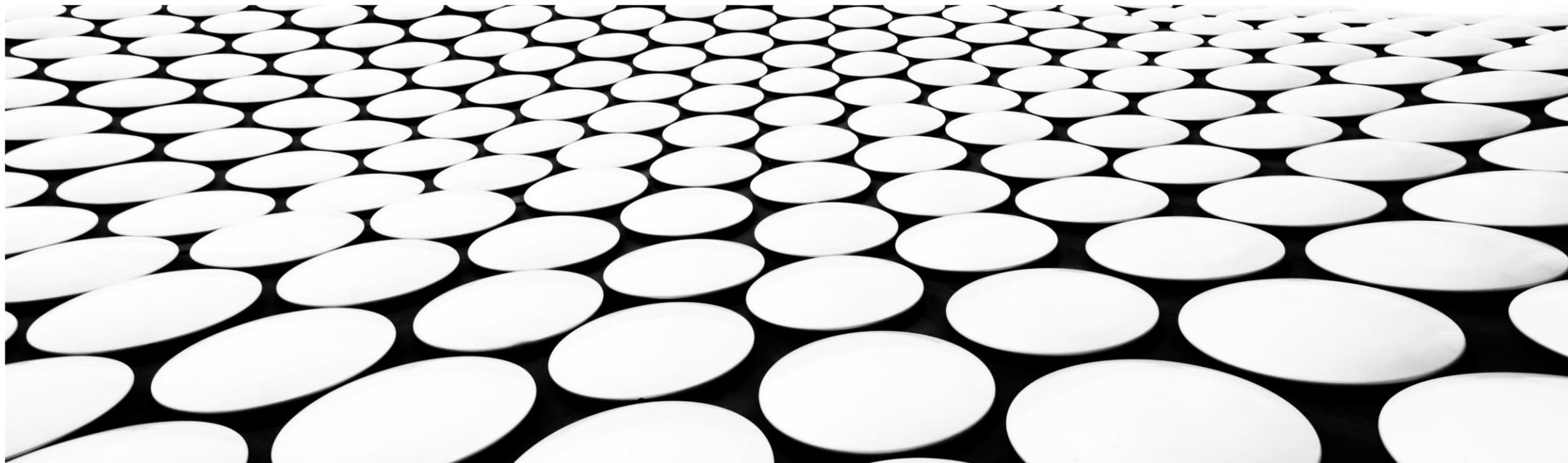
株式会社サンプルアンドシーケンス



事業所名:放課後等デイサービス クリッピン(Clippin')

# 支援プログラムの公表(放課後等デイサービス)

令和7年6月27日 作成



## ◆ 法人および事業所の理念

「個性は響きあい、支援はうねりとなる。」

私たち、株式会社サンプルアンドシーケンスは、  
一人ひとりの持つ“サンプル＝個性・経験・背景”を尊重し、  
それらを柔らかく編み合わせる“シーケンス＝秩序・流れ”を通して、  
新たな価値と変化を生み出す支援を提供します。

私たちは信じています。  
誰もが、自分だけのリズムで、自分だけの景色へと歩いていく力を持っていることを。  
そして、子どもたちの中にある“枠を越える衝動”こそが、未来を切り拓く原動力であると。

事業所「Clippin'」の名の通り、  
私たちは、日々の中に光る小さな瞬間を丁寧に“切り取り”、  
時には“音が割れる”ほどの生命力や個性を、まるごと受け止め、讃え、育てていきます。

支援とは、正解に寄せることではなく、  
違いをつなぎ、躍動する流れをつくり出すこと。  
一人では届かない場所へ、多様な視点が響きあいながら向かっていくこと。  
私たちは、そんな“協働と創造のチーム”として、子どもたちの人生に並走していきます。

## ◆ 支援方針

私たちは、「個性は響きあい、支援はうねりとなる」という企業理念のもと、一人ひとりの違いや可能性を尊重し、子どもたちが“自分らしく未来を描く力”を育めるよう、日々の支援に取り組んでいます。

この理念に共感し、同じ志を持った職員が集まりました。  
多様な専門性と経験を持つスタッフが、それぞれの視点を活かしながら、「子どもたちにとって本当に必要な支援とは何か」を、対話し、考え、実践しています。

そして私たちは、「自立する力」「挑戦する心」「思いやる心」の育成を通じて、未来の社会を担う存在を育てることを、支援の目的として大切にしています。  
私たちが重んじる3つの姿勢は、以下のとおりです

① 可能性を信じ、未来を見つめる支援

② 挑戦を讃え、失敗をともに乗り越える関わり

③ チームで編み出す支援の流れ

## ◆ 営業日および営業時間

- 営業日：月曜日～金曜日
- 営業時間：平日 14:30～17:30  
学校休業日 10:30～16:30
- 休業日：土曜日、日曜日、国民の祝日、  
年末年始(12月29日～1月3日)、その他(GW、お盆等)
- 送迎：あり

# ◆ 本人支援の内容と5領域との関連性

①健康・生活		
具体的な達成目標	支援内容	支援プログラム
児童の健康状態を日常的に観察・把握し、心身の健全な発達と健康の維持・増進を支援することを目的とする。	児童の健康状態を日々観察・記録し、心身の状況に応じた適切な対応を行うことで、健康的で安全な生活習慣の定着を支援します。また、児童自身が自らの健康に関心を持ち、主体的に生活を調整する力を育むよう働きかけます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的な心身の把握(体温測定)</li> <li>定期的な心身の把握(気分把握)</li> </ul>
各児童の特性および発達段階に応じて、身体的・精神的ならびに社会的な適応能力の向上を図ることを目的とする。	児童が日常生活および社会生活を円滑に送れるよう、個々の発達段階や特性に応じて身体的・精神的・社会的な側面から支援を行います。必要に応じて訓練的要素も取り入れ、生活能力の向上を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活リズムの安定(定期的かつ定時に通所)</li> <li>ソーシャルスキルトレーニング 総合支援</li> <li>外出レクリエーション</li> <li>地震・火災・水害など避難訓練</li> </ul>
児童の基本的な身辺自立を図るとともに、個々の特性に応じた支援を行うことにより、心身の健全な発達および日常生活における自立の促進を目的とする。	児童が基本的な生活リズムを確立できるよう、個々の特性や生活状況に応じた支援を行います。また、安定した日常生活を送るための習慣形成を継続的に支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>着替えや身の回りの整理訓練</li> <li>手洗い・うがい・歯磨き</li> <li>ライフスキルトレーニング 総合支援</li> <li>食事自立訓練</li> </ul>
金銭の管理や物品の購入等に関する具体的な経験と知識を習得させ、将来的に自立した生活を営むために必要な意思決定能力の育成を目的とする。	物品の購入に関する一連の流れを体験する機会を設け、児童が選択や支払いなどの手続きを通じて、買い物に必要な知識と判断力を身につけられるよう支援します。また、実際の体験を重ねることで、将来的な自立した意思決定に繋がる力を育成します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>買い物(模擬店・実店)</li> </ul>
児童が自己の行動を適切に管理し、生活環境の維持および社会的規範を理解・遵守できるよう支援を行い、日常生活における適応力の向上を図ることを目的とする。	清掃活動を通じて、掃除に関する習慣の定着および技術の向上を図ります。さらに、公共の場におけるマナーや協働する姿勢を学ぶ機会を提供します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>掃除</li> <li>整理整頓</li> </ul>

# ◆ 本人支援の内容と5領域との関連性

②運動・感覚		
具体的な達成目標	支援内容	支援プログラム
<p>児童の身体的機能の維持および向上を図ることで、心身のバランスの取れた発達を促進し、日常生活における生活の質の向上を目指す。</p>	<p>日常生活に必要な基本的動作の獲得を目的として、姿勢保持や上肢・下肢の運動機能の改善・習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・向上に取り組みます。 さらに、視覚・聴覚・触覚などの感覚機能を十分に活用できるよう、遊びや運動を通じて支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚遊び</li> <li>・ダンス・ラジオ体操、軽い運動を実施</li> <li>・トランポリンの姿勢保持</li> <li>・バランスボールの姿勢保持</li> <li>・ストレッチの実施</li> <li>・自立課題</li> </ul>
<p>音楽活動を通じて感受性を育み、他者との関わりの中で社会的協調性を高めるとともに、自己表現力の向上を図ることを目指す。</p>	<p>遊びや運動を取り入れた活動の中で、音を聞き取る力やリズム感を育てるとともに、自己表現力および他者との協調性の向上を促す支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽に合わせて体を動かす遊び・運動</li> </ul>
<p>児童が心身のバランスを保ちつつ、心理的・生理的側面を含めた全体的な安定を図れるよう支援し、情緒の安定および生活全般における安定性の向上を目指す。</p>	<p>音や温度、室内環境の調整に配慮し、児童が安心して過ごせる空間を整えることで、過度な緊張を緩和し、感情の安定や集中力の向上、心身のバランス維持を図る支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚過敏用のイヤーマフ、パーテーション配備環境用意</li> </ul>
<p>児童一人ひとりの発達特性および個別のニーズに応じた適切な支援を行い、課題への柔軟な対応力を養うとともに、個々の能力の向上を図ることを目指す。</p>	<p>学校や家庭など日常生活の場面で生じる課題に応じて、児童一人ひとりに適した個別支援プログラムを立案・実施します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小集団、個別での専門的支援の実施</li> </ul>

# ◆ 本人支援の内容と5領域との関連性

③認知・行動		
具体的な達成目標	支援内容	支援プログラム
<p>児童が環境の変化を的確に認識し、柔軟に対応できる力を養うとともに、課題解決能力の向上を図ることを目的とする。</p>	<p>日々の変化に気づくことができる環境を整備し、情報の適切な取得から行動への展開に至る一連の認知過程の発達を支援します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天気、気温、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成</li> <li>・1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成</li> <li>・自立移動訓練</li> </ul>
<p>児童が見たり聞いたりしたものの特徴を正確に見分け、概念的理解を深めることを促すとともに、認知処理能力の向上および複雑な知覚課題への適応力の強化を図ることを目的とする。</p>	<p>物の個数、形状、重さ、色、機能および属性の認知形成を促進する支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘土、スライムによる物質の変化と感覚の認知形成</li> <li>・ブロック遊びによる空間把握の認知形成</li> <li>・組み立て教具による空間把握の認知形成</li> <li>・ビジョントレーニング</li> <li>・工作による認知形成</li> </ul>
<p>児童が自身の認知的な特性を把握し、多様な状況に対する認知および行動の適応力を高めることを目的とする。</p>	<p>児童の認知の偏りをはじめとする個々の特性に配慮し、感覚形成の促進を図る支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感覚、認知の偏りに対するリフレーミング</li> <li>・小集団でのゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮</li> <li>・季節の変化への興味などの感性形成のための外出・行動</li> </ul>

# ◆ 本人支援の内容と5領域との関連性

④言語・コミュニケーション		
具体的な達成目標	支援内容	支援プログラム
<p>児童が自発的に意思や感情を表出できるよう支援し、状況に応じた適切なコミュニケーションスキルの向上を図ることを目的とする。</p>	<p>始まりの会や終わりの会など、日課として定着した活動の中で、実際の体験や具体物に触れながら語彙や表現の意味を結びつけていく支援を行います。 言葉を単なる音としてではなく「意味あるもの」として捉え、自発的な発声や言語の組み立てを促します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・はじまりの会、終わりの会で自発的な発声を促すとともに言語表出の機会を提供</li> <li>・小集団、個別にて言語表出を目的としたコミュニケーションの訓練</li> <li>・個別または小集団での障害の特性に応じた読み書き</li> </ul>
<p>児童が多様なコミュニケーション手段を身につけることで、相手への理解を深めるとともに、自身の意思や感情を適切に表現する力の向上を図ることを目的とする。</p>	<p>文字や記号、絵カード、補助機器など多様なコミュニケーション手段を活用し、児童のコミュニケーション能力の向上に資する支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールなどを絵や絵カードを使った視覚支援</li> <li>・絵カードを使った言語訓練(読み書き)</li> <li>・学習プリントを使った言語訓練(読み書き)</li> <li>・視覚的に「どこで何をするか」を絵などを使い具体的に表示</li> <li>・視覚的に「何がどこにあるか」を絵などを使い具体的に表示</li> </ul>

# ◆ 本人支援の内容と5領域との関連性

⑤人間関係・社会性		
具体的な達成目標	支援内容	支援プログラム
<p>児童の社会的相互作用の向上を図るとともに、協力・役割分担・社会的規範などの社会的スキルを体系的に育成することを目的とする。</p>	<p>児童が周囲の人と安定した関係を築けるよう支援するとともに、無関心な一人遊びの段階から並行遊び、大人の介入による連合的遊び、役割分担やルールを守る協同遊びへと段階的に社会性を発達させる支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アタッチメント形成(感情に寄り添う・自尊心を高める・認める)</li> <li>・見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びの組み合わせ</li> <li>・一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ</li> <li>・役割分担のある遊びなどでの環境把握</li> <li>・ルールの理解が必要な遊びや集団活動</li> <li>・イベントなどを通じた地域との交流</li> <li>・外出レクリエーション</li> </ul>
<p>児童が自己の認知や感情を深く理解できるよう促し、情動の調整能力を強化するとともに、心理的な適応力の向上を図ることを目的とする。</p>	<p>学習や遊びの機会を通じて、児童が自身の行動の特徴や得意・不得意を理解するとともに、感情や情動の調整が図れるよう支援を行います。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援</li> </ul>

## ◆ 家族支援・移行支援・地域支援/地域連携 職員の質の向上に関する取り組み・主な行事等

家族支援	ご家族様との面談の機会を定期的に設け、日常生活でのご相談や児童の成長に伴う事例の共有を行います。また、ご家族様が支援方法を一人で抱え込むことのないよう、きめ細やかなサポートを提供し、その内容を療育に適切に反映させます。
移行支援	学校生活の中で、児童自身の友人関係や集団内での立ち位置に関する課題を把握し、訓練方針を策定します。児童が安心して穏やかに学校生活を楽しめる環境づくりを支援します。
地域支援・地域連携	学校や関係機関との連携を図り、障害のある児童の教育的ニーズに応じた支援を行います。また、地域の学校におけるインクルーシブ教育の推進に向けて、必要な働きかけを行います。
職員の質の向上	職員の経験や職種に応じた研修への参加を促進し、専門性の向上および支援の質の継続的な向上を図ります。日々の実践に研修内容を活かせるよう、組織としての学びの環境づくりにも取り組みます。
主な行事等	児童が地域社会の一員としての意識を育めるよう、地域行事やイベント等への参加の機会を提供します。また、季節ごとの行事や日常の活動の中にも社会性や協調性を育む要素を取り入れ、楽しく学べる体験の場を大切にします。